



ESG経営を謳うJR東日本！

欠けているのは企業統治だ！

ESGとは「環境(Environment)・社会(Social)・企業統治(ガバナンス Governance)」の英単語の頭文字を取った言葉です。企業が長期的に成長するためには、経営においてESGの3つの観点が必要だという考え方が世界中で広まっています。21世紀にかけて、世界中の企業は利益を追求しすぎたため、環境汚染や労働問題、様々な不祥事が勃発しました。その結果、地球温暖化や異常気象などの環境問題、発展途上国の労働環境を巡る人権問題が顕在化したのです。利益や売上高、資産というような数字でわかる財務情報だけでは、その企業が今後も持続するかどうかを予測することはできません。そこで、ESGが新たな企業評価の軸として注目されつつあり、ESGを重要視する企業に積極的に投資する「ESG投資」が、年金基金など大きな資産を長期で運用する機関投資家を中心に広まっているのです。そのため、投資対象として投資家から評価されるように各社ESG経営に取り組むようになりました。

JR東日本に会社の欠けているものは、明らかに企業統治です。企業統治とは、「企業の組織ぐるみの不祥事を防ぐために、社外取締役や社外監査役など、社外の管理者によって経営を監視する仕組み」のことです。人権無視、コンプライアンス違反などを繰り返し、差別と区別で、社員を大事にしない企業は、公共性どころか企業価値が高まりません。



日本のモノづくりの信頼が大きく揺らぐ異常事態！

トヨタ自動車

車検不良の根底には車検のスピードアップで整備不良がまん延していた。成果重視、目標達成型のマネジメントが原因。

三菱電機

鉄道車両の空調問題。閉鎖的な組織と組織ぐるみの隠ぺい問題。本社と現場の距離感が大きいと指摘される。

- ・日立の子会社
「日立アステモ」
- ・神戸製鋼
- ・三菱マテリアルの子会社
- ・東レの子会社
- ・日産自動車やスバルなども

JR東日本会社も何も変わらない！

法令を遵守せず、不当労働行為を繰り返し、労働組合に所属していることを持って差別、人権侵害、パワハラ、恫喝……。これらを全て隠ぺいしている！どれだけ多くの社員が苦しめられ、どれだけ多くの社員が命を絶ったのか、会社は全く分かっていない。ことあるうちに、不当労働行為をもみ消す許しがたい人事異動が行われている！不当労働行為や差別や人権侵害に苦しむ社員を守るべきだ！社員・家族の幸福を願うのであれば、今こそ全ての社員と現場を大切にすべきであり、職場実態にもっと目を向けるべきだ！